

【全体】

通期の修正について、増減益の分析で増収効果を当初は+180億円で見えていたものが、今回+96億円で縮小された。事業別に見ると先進国二輪車が良くないことは分かるが、それ以外の要因についても教えてほしい。

先進国二輪車で、欧州の販売遅れを挽回すべく進めていたが、挽回しきれなかった。第4四半期はシーズンオフに入るの、リカバリーが難しいという見通しになった。新興国二輪車は、インドネシアは順調だが、予算対比でベトナムとインドでの未達が大きい。第4四半期はハイシーズンになるので出来るだけリカバリーしたかったが、当初予想には及ばない見通しとなったため、下方修正することにした。マリンについては増産効果が順調に出ている。

原材料と為替について、仮に今の状況が続いた場合、来年の業績にはどのように影響を与えるか。

原材料については、第3四半期の結果を見て第4四半期を想定しているが、今後の見通しについて言及するのは難しい。為替についても同様で、先進国は大分安定しているが、新興国はまだ不安定な状況。一定の想定をしたうえで、影響を少なくする策を練っていく。

品質関連の費用について、今回あまり動きがなかったという理解でよいか。

過去数年、大きなリコール費用を使ってきたことの反省から、社内体制を強化してきたため、市場に出てからのリコール費用は抑えることが出来ている。品質向上の取り組みが経営数値に現れるようになってきた。

【先進国二輪車】

先進国二輪車で固定費削減を進めるとのことだが、具体的にどのようなものか解説をお願いしたい。

固定費削減というのは今後の総需要のベースをどこにおいて、本社の製造や販売会社をどのような体制にするかという内容である。いくつかのプランは社内で行進しており、プランが最終確定したらご説明する。

先進国二輪車について挽回しきれないという話があったが、第3四半期単体の出荷台数は前年比でマイナスになっている。この点について、御社のモデル競争力の観点から説明いただきたい。

モデルの端境期にあるのは事実。特に、欧州を牽引していたMTシリーズを発売してから時間がたっている。昨年の欧州販売が良かったのは、新モデルTMAXの生産・販売が進んだためである。北米はオフロードが好調だが、単価の高いツアラーモデルが苦戦をしている。このセグメントでは、ベビーブーマー層の需要の落ち込みが、大きな影響を与えている。

【新興国二輪車】

マーケット別に状況を説明していただきたい。インドネシアとフィリピンが好調だが来年以降も継続するのか、またベトナムでは新モデルの導入遅れや他社攻勢が強まるなか、来年新モデルが出ることで状況が改善するのか。

インドネシアは、昨年より総需要が伸びている。主要市場のジャワ島でも前年比で総需要の増加がみられている。当社も従来から好調だったNMAXに加え、今年発売した125ccスクーターのLEXIが好調。第4四半期も来年も順調と想定している。フィリピンも、総需要・当社販売ともに好調。競合他社の動向も激しくなっているが、来年も今年並みの成長を見込めるのではないかと想定している。ベトナムについては、昨年来苦しい状況が続き、今年も販売が当初の想定以上に落ち込んでいる。スクーター領域で、新モデルの導入や積極的な販売促進・マーケティングを計画しているので、来年は反転に向けて取り組んでいきたい。最後にインドについては、当社が得意とするモーターサイクルタイプのプレミアムモデルが好調。総需要が伸びているスクーター市場では、他社が125ccの新モデルを導入するなか、当社は苦戦している。すでに商品開発に取り組んでおり、将来に向けた準備を行なっている。

【マリン】

船外機の能力増強により、生産台数も上がっていると思うが、その生産能力で需要には十分対応できるのか。年初以降、ボートビルダーとの間で供給不足という状況が続いていたと思うが、解消するのはいつ頃を目処と考えればよいのか。

今回の船外機の能力増強により、供給不足は既に解消しつつある。米国の景気が良い方向に進んでいる中、今後どこまで需要が伸びていくかは不透明な状況にあるが、現地の販売拠点やボートビルダーとコミュニケーションを重ねて、ある想定をしながらそれに見合う体制を作っていく。いくつかプランはあるので、需要の状況に応じて適宜能力増強を進めていく。大型化や船内機からの移行のトレンドが、北米だけではなく欧州に広まっている中で、北米での供給不足は来年の需要期に向けて大丈夫だと思うが、欧州を含めた供給不足をいつ解消できるかについては、需要の動向を見ながらフレキシブルにアロケーションをして対応したい。

先日の米社ブランズウィックの第3四半期決算では、船外機の業績が非常に大きく伸びていて、来期もさらに増産することだったが、今の御社の説明と少し温度差を感じる。需要の見通しなどで何か懸念があるのか。

見通しとしては、ブランズウィックと同じ目線である。ただ、どこまで伸びるかは不透明なところで、今まで以上に動向を注視しながら拡販に努めていく。米国だけでなく、欧州なども含めた先進国マーケット全体で需要は強くなるとみている。

【ロボティクス】

サーフェスマウンターが好調だが、足元の市場環境についてコメントいただきたい。

当初の年間予想は部品の供給問題もあって、ほぼ前年並みで想定していた。第2四半期決算時に下期での供給問題解消の可能性を示唆したが、一部の部品では解消したものの、全体的な解消はまだで、当初予想通りの台数に落ち着くとみている。

以上